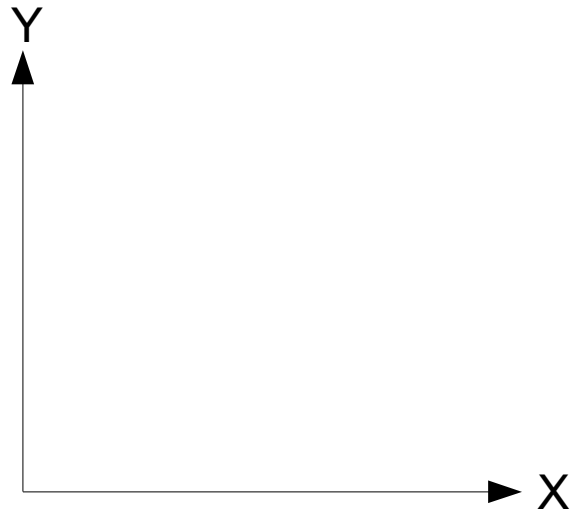


MIF座標系とIOO座標系の変換

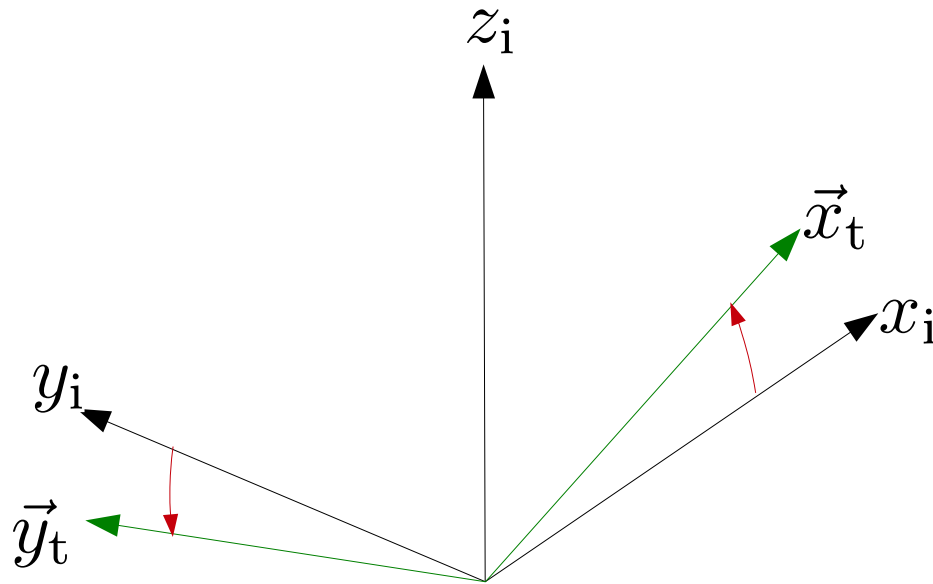
真上から見ると、KAGRAのX,Yトンネルは直交している



しかし実際にはトンネルは1/300傾いている

x_i, y_i, z_i : 100座標系の軸。原点はBSに取ってある。

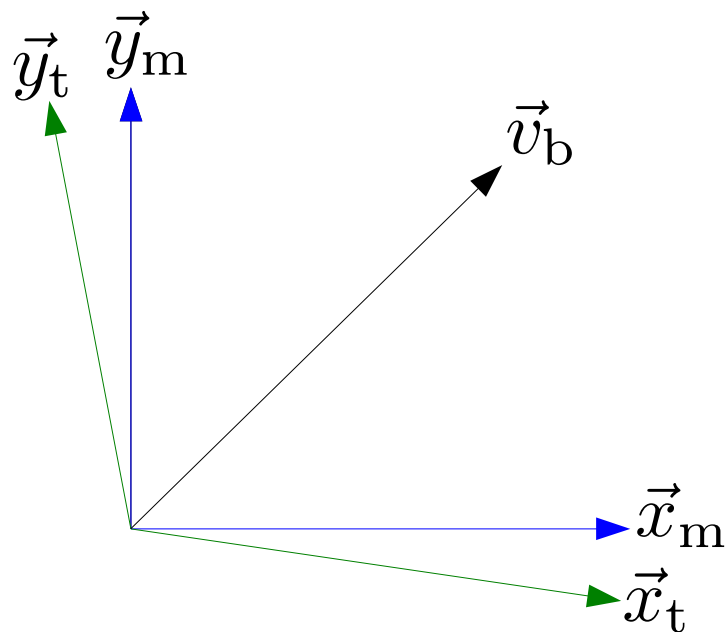
\vec{x}_t, \vec{y}_t : トンネルの方向を示す単位ベクトル



\vec{x}_t と \vec{y}_t は直交していない
なす角は90.00064度

\vec{x}_t と \vec{y}_t が張る平面上に， MIF を構築 (MIF 平面)

MIF 平面を真上から見ると



\vec{x}_m, \vec{y}_m : MIF 平面上で直交する単位ベクトル。 \vec{x}_t, \vec{y}_t と角の二等分線 \vec{v}_b を共有。
干渉計の腕はこれらのベクトルの延長上に作られる。
これらは， MIF 座標系の基底ベクトル (x 軸， y 軸)
MIF 座標系の z 軸基底ベクトルは， MIF 平面の法線ベクトル

\vec{x}_m, \vec{y}_m のIOO座標系における成分を知りたい

$\vec{x}_t \propto (300, 0, 1)$ $\vec{y}_t \propto (0, 300, -1)$ は分かっている。

まずは、MIF平面の法線ベクトル(\vec{z}_m)を外積 $\vec{x}_t \times \vec{y}_t$ から計算する。

\vec{v}_b を \vec{z}_m 周りに ± 45 度回転させて、 \vec{x}_m と \vec{y}_m を得ること考える。

\vec{z}_m 周りの θ 回転を表すQuaternionは、

$$Q = [\cos(\theta/2), \vec{z}_m \cdot \sin(\theta/2)]$$

$$Q^{-1} = [\cos(\theta/2), -\vec{z}_m \cdot \sin(\theta/2)]$$

二等分線 \vec{v}_b に対応するQuaternion $P = [0, \vec{v}_b]$ を用いると、

$R = Q \cdot P \cdot Q^{-1}$ のベクトル部を $\theta = \pi/4$ と $\theta = -\pi/4$ の

場合について計算すれば、 \vec{x}_m と \vec{y}_m が得られる。

実際に計算されたMIF座標系の基底ベクトルのIOO座標系における成分表示

$$\vec{x}_m = (9.99994445 \cdot 10^{-1}, 5.55546296 \cdot 10^{-6}, 3.33329630 \cdot 10^{-3})$$

$$\vec{y}_m = (5.55546296 \cdot 10^{-6}, 9.99994445 \cdot 10^{-1}, -3.33329630 \cdot 10^{-3})$$

$$\vec{z}_m = (-0.00333333, 0.00333333, 0.99998889)$$

逆にIOO座標系の基底ベクトルをMIF座標系で成分表示すると

$$\vec{x}_i = (9.99994445 \cdot 10^{-1}, 5.55546296 \cdot 10^{-6}, -3.33329630 \cdot 10^{-3})$$

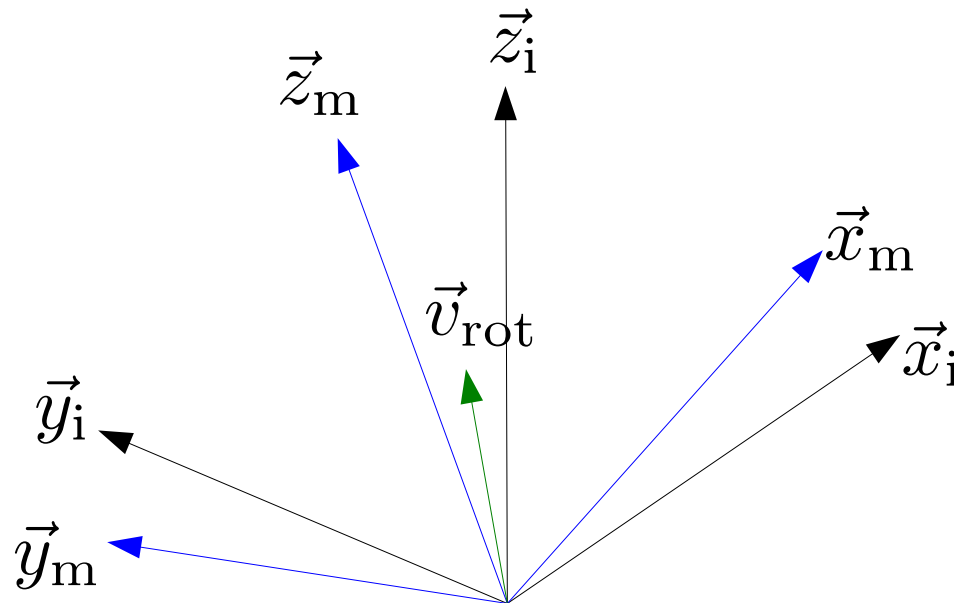
$$\vec{y}_i = (5.55546296 \cdot 10^{-6}, 9.99994445 \cdot 10^{-1}, 3.33329630 \cdot 10^{-3})$$

$$\vec{z}_i = (0.00333333, -0.00333333, 0.99998889)$$

MIF系とIOO系を回転で一致させるには？

$\vec{v}_{\text{rot}} = \vec{z}_m \times \vec{z}_i$ を軸として、 \vec{z}_m と \vec{z}_i がなす角だけ全体を回転させる。

これで、 \vec{z}_m と \vec{z}_i が一致する。後は、 \vec{z}_i 周りの回転の自由度が残っているように見えるが、対称性から、x軸、y軸も自動的に一致する。



具体的な \vec{v}_{rot} 周りの回転操作の計算方法

任意のベクトル \vec{v} MIF系からIOO系へと回転させたい場合、以下の計算をする。

$$\vec{v}_{\text{rot}} = \vec{z}_m \times \vec{z}_i / (|\vec{z}_m| |\vec{z}_i|)$$

$$\theta = \arccos(\vec{z}_m \cdot \vec{z}_i)$$

$$Q = [\cos(\theta/2), \vec{v}_{\text{rot}} \cdot \sin(\theta/2)]$$

$$Q^{-1} = [\cos(\theta/2), -\vec{v}_{\text{rot}} \cdot \sin(\theta/2)]$$

$$P = [0, \vec{v}]$$

$$R = Q \cdot P \cdot Q^{-1}$$

Quaternion R のベクトル部分(第2,3,4成分)が、回転後の \vec{v}

(Q,P,R等はQuaternionで、これらの積は、Quaternion積。)